

ひばりが丘 M カフェだより No.20 2019. 9. 7 発行

編集・発行：メディカルカフェひばりが丘
<https://hibari-hills2017.jimdo.com>

メディカルカフェひばりが丘は一般社団法人がん哲学外来の協力のもとに運営しています。
詳しくはホームページで。全国のカフェ情報もあります。⇒<http://www.gantetsugaku.org/>

「白鷺メディカルカフェ」4周年特別講演会に参加して



8月17日(土)の午後、中寺朱美さんと一緒に、白鷺メディカルカフェ発足4周年特別講演会に参加しました。この企画は、樋野興夫先生の講演「種を蒔く人になりなさい」と、がん患者・家族・遺族の立場からの体験談、そしてカフェ開設の責任を担い、1年後に天に召された中井理佐子さんの追悼記念というプログラムでした。

樋野先生のご講演では、質疑応答が活発で、特に印象的だったのは「患者さんの面談では、皆さん、どんなことを悩んでいるのでしょうか」という質問に対して「皆、人間関係に悩んでいる」とのこと。病気や仕事そのものというより、がんになる前から抱えている、職場や家族との人間関係の悩みを持つ人がいかに多いかということ、日頃の気持ちの持ち方、考え方如何によって、病気に直面したときの態度や考えが違ってくることをあらためて学びました。

カフェスタッフの加藤さんは、お連れ合いをがんで亡くされた辛いご経験から、カフェに出会って、もう一度歩み出されるまでの思いを素直に語ってくださり、悲しみを経て生まれる優しさをもって白鷺カフェで活動されていることに、深い感銘を受けました。

中井さんの追悼のプログラムでは、メディカルカフェ東村山代表の大弥さんが、中井さんの好きな聖書の言葉としてヨハネ福音書12章24節、「一粒の麦もし地に落ちて死なずば、ただ一つにてあらん、死なば多くの実を結ぶ」を紹介され、病気であっても精一杯できることを成し遂げて旅立った、短くても貴い生涯をたたえるお話に、たいへん共感を覚えました。ご自身もがん当事者として治療を続けながらも、「病気であっても自分らしく生きる」ことをモットーにカフェの代表として活躍される大弥さんには、ひばりが丘カフェも大変お世話になり、いつも温かい言葉をかけていただき、感謝しております。

妹である理佐子さんを天に送ってから、白鷺カフェの代表となり、理佐子さんのお名前とともに活動を続ける太田和歌子さんのご挨拶を聞きながら、このようなあり方・姿勢は、たくさん生まれているメディカルカフェの中で貴重なものであり、希望ではないかと感じました。

最後に「花は咲く」の歌では、一人一人の使命をそれぞれが咲かせる人生を！との思いを抱きつつ拙いオルガンを弾かせていただき、かけがえない1日となりました。

これからも姉妹カフェとして、アドバイスをいただきながら、交流できればと願っています。

(世話人代表・田鎖夕衣子)

ピンチはチャンス！

田鎖瑞枝

散歩の途中、川向うの高校グラウンドで練習するユニホーム姿の高校生に足が止まる。

TV で放映されるさまざまな野球の試合が気になる。私は 10 代の頃からずーっと野球が好き。

今年も 7 月にプロ野球のオールスターゲームがありました。これは年に 1 回、プロ野球のセントラルリーグとパシフィックリーグ各々のチームから選出された選手たちが 2 日間試合をする、ビッグイベントです。出場選手はまずファンの投票で、次に選手同志の投票で、さらに監督の推薦があり、最後にここまで選ばれていない選手の中から、各リーグで一名ずつ、ファン投票で選ばれる「プラスワン」。

今回このプラスワンで選ばれたセントラルリーグの原口文仁選手（阪神タイガース所属）は、今年 1 月に大腸がんの手術を受けました。それから半年後のオールスターへの出場。

その最初の試合の 9 回に代打で登場してホームラン！ 次の日にもホームラン！！試合後のインタビューに応じて彼は「あまり良い成績ではない自分を最高の舞台に立たせてくれた方々に、少しでも恩返しができたら、と思っていたので、大変嬉しいです。」

この活躍で数々の賞を受けた原口選手は、賞金でブレスレットを作って販売し、その利益を全額がん患者支援団体に寄付してい

るそうです。

この行動がおこされたことには、ベースとなるこんな経験がありました。

昨年 12 月、原口選手はチャリティー・イベントに参加しました。それは先輩の選手が長年取り組むマラソン大会。参加費の一部が福祉団体に寄付されるしくみで、彼は 2 回目の参加でした。このマラソンに参加して間もなく、自身の大腸がんが判明しました。

「もちろんショックでしたが、これはチャンスだ」と思ったそうです。健康診断の重要性や、生きる喜びを、プロ野球選手としてみんなに伝えられるのではないか――。

「がん」とまっすぐに対峙して、自らの立場を確認して生きる、27 歳の原口選手の行動、勇気に拍手です。

がんサバイバーで野球ファンの私には、すばらしい夏となりました。



*長年愛する野球で出会ったエピソードは、感動もひとしおでしょう。

原口選手の作ったチャリティーブレスは、「グッチブレス MoveOn！～トモニミライへ～」というネーミングで、1 個 1,050 円。

“FANGO！”というインターネットサイトで、T シャツやマフラータオルなどと一緒に販売されていて、売上げが寄付になるそうです。

気になる方はぜひチェックを！

<https://officesic.base.shop/>

弘前がん哲学外来メディカルカフェ

「ひととき」 会場教会をお訪ねして

田鎖夕衣子

8月下旬、観光で出かけた弘前市内で、観光案内を見ると、文化財として日本基督教団弘前教会が紹介されていました。

弘前教会といえば、がん哲学外来メディカルカフェを開催している教会であることを思い出し、まずは観光客として、この教会を訪れることにしました。

台風の影響で降り出した雨のため、木造の美しい建築の教会堂の写真を撮ることもなく、傘をたたんでドアを開けると、ほかには観光客もおられないようで、しんとした建物に懐かしさをおぼえながら靴を脱いで上がりました。

受付には、礼拝の案内などにまじって、カラーのはがきでメディカルカフェのお知らせがあり、さっそくその写真をスマホでカシャリ。礼拝堂の方にいく廊下にも、死生学に関するセミナーのポスター、メディカルカフェのポスターがA2判の大きなサイズで張っており、教会全体でがん哲学に関心と理解があることが伝わってきました。

がん哲学外来ホームページに全国のカフェの情報が出ています。9月に開催する21世紀のエステル会のシンポジウム準備のため、この情報をリストにしていた関係で、東北地方には、カフェが少ないと感じていましたが、この弘前カフェは活発な活動をしているようにお見受けしました。どんな感じなのだろう、と思いながら礼拝堂を見

学し、写真を撮ってまた受付に戻ったところで、牧師の村岡先生が現れたのです。

渡りに船、とばかりに自己紹介して、メディカルカフェについてお話を伺いました。

もともと教会には、地域のためにできることをしようという伝統があり、20年くらい前には日本語教室を始めたり、ほかにも、子どもの図書コーナーなどもあるそうです。

福祉や医療関係の仕事についている方がスタッフの中心となって、15名くらいでメディカルカフェを運営しているので、「村岡先生が、がん哲学外来のホームページでは代表となっていますが」とききましたら、「あれ、まだかわってなかったですか？運営は事務局長がやっています。わたしは横で暇そうな顔ですわっているだけです」と穏やかな笑顔で話されました。

最後に、村岡牧師がみせてくださったのが、四角い箱に「対話のルール」（「聞いたことを批判しない。」「ただ聞いているだけでもよい。」など）を書いて貼ったもの。メディカルカフェで培ったこの対話のルールを、丸く並べた椅子の中心に置いて、毎週の教会の聖書研究会での話し合いを行い、円滑な対話の場作りに役立っているということ、大変参考になりました。

牧師先生のお連れ合いがおいしいりんごジュースとりんごの焼菓子でおもてなししてくださり、カフェに来たようなひとときをありがとうございました。

教会を出るときは土砂降りでしたが、疲れも吹き飛び、とてもさわやかな気持ちになっていました。

**がん哲学外来メディカルカフェひばりが丘
メディカルカフェ開催予定**

★第22回 11月16日(土) 13:30-15:30

★第23回 1月18日(土) 13:30-15:30

日程は変更される場合もありますので事前にお問い合わせください。

会場：にほんきりすと日本基督教団 **ひばりが丘教会**

申込・お問い合わせは、田鎖夕衣子（たぐさりゆいこ）まで どうぞ

e-mail yuipeace@tbz.t-com.ne.jp

TEL 090-8086-3409

FAX 048-479-7274

◆教会 TEL 042-422-3732

◆教会ホームページ <https://hibari-hills2017.jimdo.com/>

21世紀のエステル会主催★第2回シンポジウム

「もしかすると この時のため ～ 地の塩、世の光～」

日時：9月16日（月・祝）14:00-17:00

会場：にほんきりすと日本基督教団 **ひばりが丘教会**

講演：「伝える管 ～ 心の中に種を蒔く～」

樋野興夫氏（新渡戸稲造記念センター長・順天堂大学名誉教授）

【主催・申込先】

21世紀のエステル会

プログラム詳細はホームページでお知らせいたします。

参加ご希望の方は、お名前・電話番号・メールアドレスを下記までお知らせください。

*電話：050-5329-4736

*メールアドレス：21esther.medicafe@gmail.com

*ホームページアドレス：<https://21esthermedicafe.wixsite.com/esther>